

第3次会津若松市行政システム改革プランの総括

「第3次会津若松市行政システム改革プラン」（以下、「第3次行革プラン」という。）は、第6次会津若松市長期総合計画に掲げるまちづくりの実現に向けて各種施策を着実に推進するため、その土台となる行政システムの改善を図ることを目的に、第2次行政システム改革プラン等の取組を継承し、平成25年4月以降の4年間についての行政改革の取組の大綱として策定したものです。

第3次行革プランでは、本市のおかれている状況と課題を踏まえ、「参加と協働による未来につなぐ市政運営」を基本目標とし、3つの改革の基本的視点として「参加と協働によるまちづくりの推進」「持続可能な運営体制の構築」「市民サービスの向上と職員のスキルアップ・組織風土改革」を掲げ、9の改革の方向と26の具体的項目を示すとともに、実効性を確保するため、72の取組項目を設け、その達成に向けて取り組んできました。

その結果、計画の目標を達成または達成予定の項目（完了・A・B評価の割合）は全体の87.5%となっており、概ね順調に取り組まれています。

◆第3次会津若松市行政システム改革プランの取組状況（平成27年度末現在）

改革の基本的視点	完了	A	B	計	C	合計
参加と協働によるまちづくりの推進	6	6	3	15	3	18
	33.3%	33.3%	16.7%	83.3%	16.7%	100.0%
持続可能な運営体制の構築	4	19	11	34	6	40
	10.0%	47.5%	27.5%	85.0%	15.0%	100.0%
市民サービスの向上と職員のスキルアップ・組織風土改革	0	13	1	14	0	14
	0.0%	92.9%	7.1%	100.0%	0.0%	100.0%
合 計	10	38	15	63	9	72
	13.9%	52.8%	20.8%	87.5%	12.5%	100.0%

【評価】 完了：取組が完了 A：年次計画のとおり進行し計画期間内に達成予定
B：年次計画より遅延しているが計画期間内に達成予定、C：達成が難しい状況